

# 大野っ子だより

一人ひとりを生かし 心身ともに健康で 自ら学ぶ力を育てる

～ 笑顔・元気・チームワーク ～

海南市立大野小学校 第1号 H29. 4. 10

子どもたちが！教職員が！そして保護者・地域の皆さんも！  
チームワークがよく、明るく元気で、笑顔あふれる大野小学校に！！  
そして、学力・体力・人間力のバランスよい向上をめざします！！



校長 西村 充司

平成 29 年度がスタートしました。例年より開花が遅かったこともあり、学校坂道を囲む満開の桜が、新年度の子どもの登校を明るく迎えてくれました。1つお兄さん・お姉さんになった大野っ子は、笑顔いっぱい希望いっぱい、張り切った気持ちで登校してくれました。

年度末には、42人が卒業し、さらに1人が転出しましたが、11日の入学式では41人のピカピカ1年生を迎え、平成 29 年度の大野小学校は全校児童245人での出発となります。1人ひとり、また集団として、どんなに成長してってくれるのか、われわれ教職員は、ワクワクしながらも重責をずっしりと受け止めつつ新年度始まりの準備をしてきました。

まずわれわれ教職員集団が、「笑顔・元気・チームワーク」を合言葉に明るい職員室づくりを進め、子どもたちがのびのびと学校生活を送り、さらに力を伸ばせるよう努めていきます。その上で、子ども同士、子どもと先生、家族間、先生と保護者の皆さん、保護者の方同士、子どもと地域の皆さん、保護者の皆さんと地域の皆さん、教職員と地域の皆さんと、互いに「かかわりあい」認め合い、「コミュニケーション」を大切に、チームワークを高めていけたらと願います。そうして、ぜひ元気で笑顔あふれる大野小学校を、一緒につくっていきたくと考えています。

その上で、子どもたち1人ひとりの、学力、体力、人間力のバランスのとれた向上をめざします。

## 学力の向上については、

- 日々の授業においては、その時間の学習のめあてを明確にした上で、子ども達が自分の考えを書く活動を重視するとともに、子ども同士の「かかわりあい」を積極的に位置づけ、教えてもらうばかりではない、自分たちで課題を解決しようと、主体的・対話的で深い学びをつくる大野っ子の育成をめざします。また、授業の終わりにはその時間での自らの学び・高まり・課題をきちんと振り返ることで、確かな学力の定着と、次時への学習意欲を大切にしていきます。
- 保護者の皆さんにもしっかり目をかけていただきながら、家庭学習に重きを置いていきます。今年度も、第三中学校・内海小学校との3校合同「家庭学習のてびき」を作成・配付します。学年が上がるにつれて、少しでも長く、内容も工夫充実させながら、自主勉強をできる子どもになってくれればと願います。自ら進んで学習に取り組めるよう、家庭での励ましをお願いします。

## 体力向上については、

- 平成 27・28・29年度の3年間、海南市より体力向上研究事業の指定を受けています。今年度は3年間の集大成の年であるとともに、平成 29 年 11 月 9・10日には全国学校教育研究大会和歌山大会第3分科会場として研究会を開催します。子ども同士が「互いにかかわり合い認め合い、運動の楽しさとできる喜びを実感できる体育」の授業づくりを進めることで、子どもたちの体力・技能・意欲の向上をめざします。
- 運動会・マラソン大会など体育的な学校行事の質を高めたり、あるいは朝の大野っ子タイム（8:20～8:40）を活用したり、また遊具や教具などの工夫した活用や整備を行ったり、体育の授業以外の場でも、子どもたちの体力の向上、また運動の楽しさやできる喜びを実感できる取り組みを大切にしていきます。

## 人間力（人間関係力）については、

- 特別支援学級が1つ新設されます。心身に障害のある人に対する理解を深めるとともに、右側歩行を徹底するなど、学校生活におけるルールやマナーの徹底、また実践力を高めていきます。
- 普段の道徳の授業を柱に、年間2回のQ-Uアンケート・毎学期のいじめアンケート・人権作文発表会の実施、もちろん子ども同士の「かかわりあい」の中で生じたトラブルなどへの対応を通してなど、日々の教育活動全体の中で、「自他の命の重み」・「他者への思いやり」・「自尊感情」などなど、道徳的な心情や判断力・実践力をじっくりと培っていきます。
- 異年齢間の交流や地域社会・自然・文化とかかわる体験活動を重視し、豊かな情操と優しい心、また人とかわる力を育てていけるよう努めます。

保護者の皆さま、地域の方々、ご理解ご協力の程、何卒よろしく願いいたします。

そうして、ともに「チームおおの」として、子どもたちのため、

チームワークよく、元気で、笑顔あふれる大野小学校を！！ 築いていきましょう